

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者	角田敏夫	連絡先	513
平成18年度部名	教育総務部		課名	津久井教育課	課長名	八木正夫
平成19年度部名	教育環境部		課名	津久井教育課	課長名	八木正夫
事務事業名	学校プール開放事業					
予算上の事務事業名	学校プール開放経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15210		
基本目標	I 「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					
施策名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
スポーツ振興法、相模原市学校プール開放実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	スポーツ振興計画～地域スポーツ活性化プラン～			市民自らがスポーツへ取り組むことを基本として、地域におけるスポーツ環境の整備、青少年期の整備など基本目標に各種施策を推進する。		
計画年次	平成16	年度～	平成25	年度		
4 事業形態の区分			5 事業開始年度			
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
津久井町内の市立小・中学校のプール施設を夏休み期間に開放し、子ども達が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する。				市民(市内の小中学生及びその保護者・一般)		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
津久井町内の市立小中学校3校で実施 利用者数 1,079人 委託料 1,750千円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,750	3,213	3,213	
一般財源	0	0	1,750	3,213	3,213	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	210	250	250	
事業コスト合計	0	0	1,960	3,463	3,463	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	学校プール開放事業			対象名称 と単位	入場者数 (人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,750	3,192	3,192	
対象数	0	0	1,079	2,200	2,800	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	1,622	1,451	1,140	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.89	0.79	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動)を数値化したもの						

指標名と単位	開放日 (日)	指標式と指標の説明	開放日		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	50.0		
目標	0.0	0.0	50.0	60.0	60.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数 (人)	指標式と指標の説明	18年度実績を100として		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1079.0		
目標	0.0	0.0	1,079	2,200	2,800
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト削減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		身近な学校のプールを児童等の市民に利用開放し、自ら楽しんでスポーツに親しむ機会を提供することは子どもの将来にとっても大事なことと思慮する。現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 参加者の増加を促すためPRに努める。			1 5 課題として認識されたこと 事業実施の安全性の確保		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			